



# ドリーム自動ドア取扱説明書

## スライド式自動ドア

### --- お願い ---

- 販売店、施工店、建設会社の皆様へ

この取扱説明書は、実際に自動ドアを管理なさる建物の所有者、建物管理者へお渡しください。

- 建物の所有者、建物管理者の皆様へ

この取扱説明書には、自動ドアを安全に正しくご使用いただくために、重要な内容を記載しています。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、いつでもこの取扱説明書を利用いただけるよう大切に保管してください。

扶桑電機工業株式会社

## はじめに

このたびは、「ドリーム自動ドア」をご利用いただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書（以下、本書）は、スライド式の自動ドアをご使用いただくためのガイドブックです。

本書には、自動ドアを設置された皆様への自動ドア取扱い方の説明、および自動ドアを利用される方々の安全性確保に対するお願い事項が記載されています。

## 目次

1. 安全に関するご注意	P.1
2. 自動ドア駆動装置の使用条件	P.1
3. 自動ドアセットの各部の名称	P.2
4. 動作・機能説明	P.3
5. 操作手順	P.4
6. 安全性確保のための注意事項	P.5
7. ご使用上の注意	P.6
8. 日常のお手入れ	P.7
9. 故障かな?と思ったら	P.8
10. サービスネットワーク	P.9
11. 自動ドア駆動装置の品質保証	P.10

# 1. 安全に関するご注意

本書の表示では、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぐために、図記号によって安全に関する注意事項の表示を行っています。

本書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、記載内容を十分理解されてからご使用ください。また、本書に記載されている指示は必ずお守りください。

本書に記載されていない使い方をされる場合は、建物の所有者あるいは建物管理者ご自身の責任で行い、安全性確保のために十分な配慮をして頂きますようお願いいたします。

## --- 安全に関する表示の説明 ---

表 示	意 味
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

表 示	意 味
	禁止：してはいけない内容を示します。
	指示：しなければならない内容を示します。

# 2. 自動ドア駆動装置の使用条件

自動ドア駆動装置は以下の条件でご使用ください。

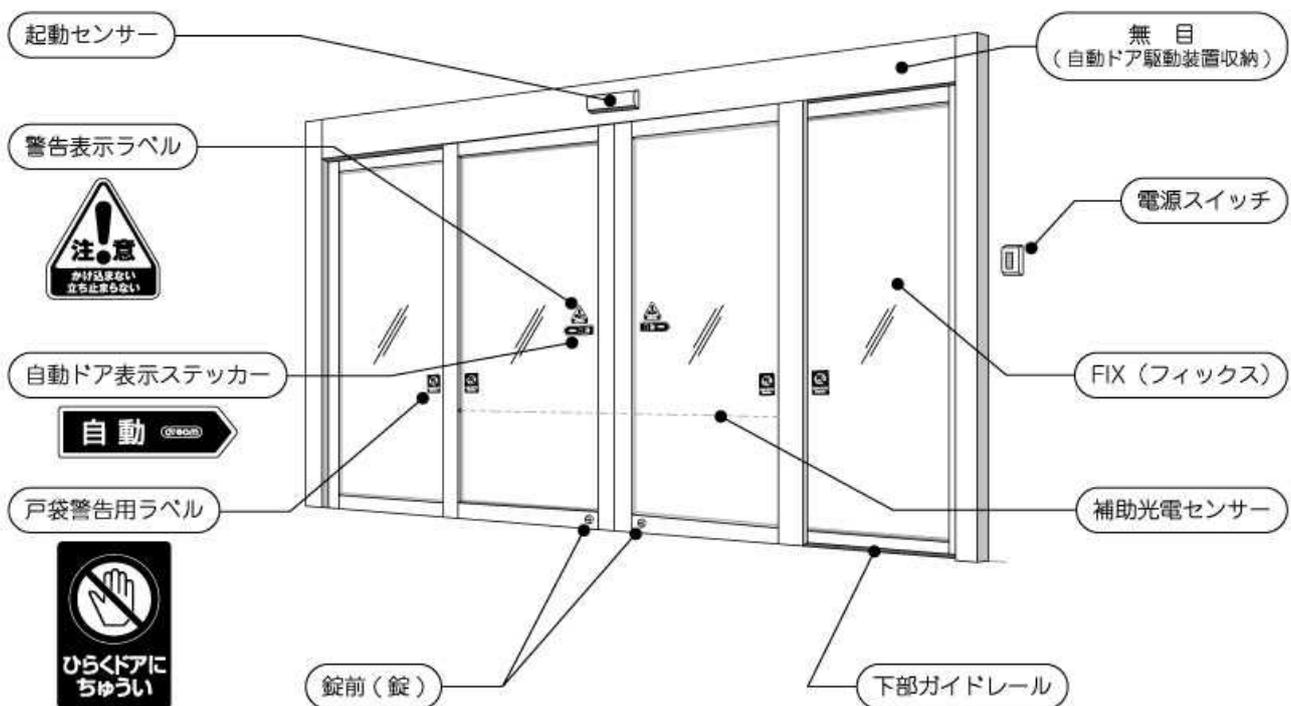
使用電圧 : AC100V ±6% 50/60 Hz

使用周囲温度 : -10℃ ~ +40℃ (氷結しないこと)

使用周囲湿度 : RH 80% 以下 (結露しないこと)

※ 強風時においては電源を切り、ドアの開閉は手動でおこなってください。

### 3. 自動ドアセットの各部の名称



上図はドアが2枚の引き分けタイプを表しています。ドアが1枚の片引きタイプの場合もありますが、いずれも各部の名称は同じです。

また、センサーは上図のようにドア上部に取り付けるタイプの他に、天井に取り付けるタイプ、ドアに取り付けるタッチスイッチなどがあります。

#### --- 用語の説明 ---

**起動センサー** : 自動ドアを開けるためのセンサーです。光線反射方式や電波方式、タッチ方式などがあり、用途に合わせて選定しています。

**補助センサー** : 自動ドアを通過中の人や、間近で立ち止まっている人を検出してドアを閉じないようにしたり、閉作動中であれば反転動作をさせたりします。光線反射センサーや光電センサーなどがあります。

**無目** : 自動ドア駆動装置を納めてある部材（ケース）です。

**FIX** : 固定された建具です。

**下部ガイドレール** : 床面に設置してある、ドアをガイドするレールです。

**自動ドア表示ステッカー・警告表示ラベル・戸袋警告用ラベル** :

自動ドアであることや開く方向を示す表示、開口部への「駆け込み」や「立ち止まり」等に対して注意を促す表示です。

## 4. 動作・機能説明

### ■ 通常動作

起動センサーが人や物を検出するとドアは開き、開放保持時間が経過すると閉鎖します。

ドアが開ききっている時、起動センサーあるいは補助センサーが人や物を検出すると、ドアはそのままで停止しています。

ドアが閉じ動作中に起動センサーあるいは補助センサーが人や物を検出すると、ドアは反転し開き動作を行います。

ドアの閉じ動作から開き動作への反転は瞬時には移行しません。  
ドア質量による慣性力のため少し時間がかかります。

### ■ 停電時の動作

ドアは手で開閉動作をすることができます。

### ■ 自動反転機能

ドアの閉じ動作中、あるいは開き動作中にドアが障害物を挟み込んで途中で停止した際には、ドアは自動的に反転動作を行い、障害物が挟まれたままの状態を防ぎます。

## 5. 操作手順

### ■ 電源スイッチを入れる前に



### 注意



ドアの周囲に人がいないことを確認してください。

人がドアと衝突してケガをするおそれがあります。



ドアに錠がかかっている場合は解錠してください。

自動ドアに障害が発生するおそれがあります。



下部ガイドレールがある自動ドアの場合、レール内に異物が入り込んでいないか確認し、異物がある場合は取り除いてください。

自動ドアに障害が発生するおそれがあります。

## ■ 電源の入れ方



### 警告

-  濡れた手で電源スイッチを操作しないでください。  
感電するおそれがあります。
-  自動ドア駆動装置には手を触れないでください。  
駆動部に手指を挟むなど、傷害を負うおそれがあります。



### 注意

-  電源スイッチは手で操作を行ってください。  
棒や工具等での操作は故障の原因となります。

#### ①電源スイッチを入れてください。

電源スイッチを入れると、ドアはゆっくり開きまたは閉じます。開ききったあと、または閉じきるとその後は通常動作（3頁 参照）に移行します。

#### ②ドアが正常に開閉することを確認してください。

起動センサーが人や物を検出するとドアが開きます。起動センサーや補助センサーが人や物を検出しなくなったあと、一定時間（設定されている開放保持時間）を経過したのちにドアは閉じてきます。

## ■ 電源の切り方



### 注意

-  ドアの周囲に人がいないことを確認してください。  
人がドアと衝突してケガをするおそれがあります。
-  ドアが停止していることを確認してください。  
開閉動作中に電源を切るとドアに制動がかからなくなり、建具等に衝突してドアが破損したり、自動ドア駆動装置に障害が発生するおそれがあります。

#### ①電源スイッチを切ってください。

#### ②錠付き自動ドアの場合、錠をかけてください。

## 6. 安全性確保のための注意事項



### 注意

建物の所有者あるいは建物管理者の方は、自動ドアを利用される方へ以下の注意喚起を行い、安全性の確保に努めてください。

#### ドアに駆け込まない。

ドアが完全に開く前に駆け込んだり、閉じかけたドアに無理に進入しないでください。

ドアに衝突するおそれがあります。

#### ドアの間や動作軌道上には立ち止まらない。

ドアの間に立ち止まるとセンサーの検出範囲から外れ、ドアが閉じてくる場合があります、ドアに挟まるおそれがあります。

#### ドア付近で子供を遊ばせない。

自動ドアは子どもの突発的な動きに対応できません。ドア付近では子どもを遊ばせないでください。また、小さい子どもは大人が手をひいて通行してください。

ドアに衝突したり、挟まれるおそれがあります。

#### 斜め進入はしない。

斜め進入はセンサーの検出が遅れるため、ドアの開くタイミングが遅れる場合があります、ドアに衝突するおそれがあります。

#### ドアに手を触れない。

動いているドアに指や足先などを近づけないでください。

ドアに挟まれたり、引き込まれるおそれがあります。

#### 開放側（戸袋側）に進入しない。

開放側の動作軌道上に進入し、立ち止まったり、戸袋にもたれないでください。

ドアに衝突したり、挟まれるおそれがあります。

## 7. ご使用上の注意

### 警告

#### 自動ドア駆動装置を分解・改造しないでください。

自動ドア駆動装置を分解・改造すると感電・火災の原因となります。故障の際には施工業者あるいは本書の9頁に記載されている弊社ネットワーク各店に修理を依頼してください。万一自動ドアから煙がでたり異臭や異音がしたら、すぐ電源を切って修理を依頼してください。

### 注意

#### 動作中の無理な開閉はしないでください。

ドアの動作中に無理な力を加えると自動ドアに障害が発生するおそれがあります。

#### ドアに物を立て掛けしないでください。

ドアに物を立て掛けしないでください。ドアに障害が発生したり、ケガをするおそれがあります。

#### ドアの動作軌道上や下部ガイドレール上に物を置かないでください。

ドアの動作軌道上や下部ガイドレールに物を置かないでください。ドアに障害が発生するおそれがあります。

#### 水をかけないでください。

ドア上部の無目の中には自動ドア駆動装置が内蔵されているので、サッシ内部やセンサーに向けて水をかけないでください。自動ドア駆動装置やセンサーに障害が発生するおそれがあります。また、漏電や感電のおそれがあります。

#### 下部ガイドレール内に異物がないか点検してください。

下部ガイドレール内やドアとの隙間にゴミや小石などの異物がないか点検し、異物があったときは、電源を切ってから取り除いてください。異物があるとドアに障害が発生するおそれがあります。

#### 強風の際には電源を切ってください。

強風でドアがスムーズに動作しないときは、自動ドアの電源を切り、使用を見合わせてください。

(つづく)

## 注意 (つづき)

- ！ 停電が発生したら速やかに自動ドアの電源を切ってください。**  
電源が復旧した際、自動ドアが動き出して通行者に接触・衝突してケガをするおそれがあります。
- ！ お手入れの際や清掃時には電源を切ってください。**  
ガラス等の清掃や、下部レール内のゴミを取り除くなどのお手入れの際には、電源を切ってから行ってください。ドアに挟まれてケガをするおそれがあります。
- ！ 自動ドア表示ステッカー・警告表示ラベル・戸袋警告表示ラベルを貼ってご使用ください。**  
通行者が自動ドアであることを気づかずにケガをするおそれがあります。
- ！ 装置を廃棄する際には地域の法令に従ってください。**  
装置の廃棄については、地域の法令に従ってください。ご自身で廃棄出来ない場合は、認可を受けた専門業者と廃棄処理委託契約を締結し、廃棄処理を委託してください。

## --- センサーについてのご利用上の注意 ---

- 検出範囲のなかには、のれん・植木・垂れ幕など風で揺れ動くものは置かないでください。これらを検出してドアが開くことがあります。
- タッチスイッチは、強く押したり乱暴に扱ったりしないでください。故障の原因となります。
- タッチスイッチの電源は乾電池です。乾電池の寿命は約2年(1日500回の使用)が目安です。電池の消耗具合は使用状況により差がありますので適宜電池の交換を行ってください。

## //////////////////////////////////// 8. 日常のお手入れ //////////////////////////////////////

自動ドアを安全にご使用いただくためには、建物の所有者、建物管理者の皆様による日常のお手入れが必要です。また、自動ドアを利用される方の安全性を確保するため、自動ドアの状態を毎日確認してください。

## 警告

- ！ 異常を発見した際の処置は電源を切ってから行ってください。**

日常のお手入れと確認表	
項 目	異常時の処置
センサーの検出範囲に揺れ動くものが置かれていないか	電源を切って取り除く
下部ガイドレール内に異物が入っていないか	
センサー、補助光電センサーの表面が汚れていないか	電源を切って清掃する
自動ドアステッカー、注意・警告ラベルはよく見えるか	
タッチスイッチの場合、乾電池が消耗していないか	電源を切って電池を交換する
検出範囲は変わっていないか	弊社サービスネットワーク各店に 連絡する
異常音が出ていないか	
ドアが閉じきる直前にはゆっくり閉じるか	
ドアが開ききる直前にはゆっくり開くか	

## 9. 故障かな?と思ったら

自動ドアが「故障かな?」と思ったら下記の事項を確認してください。処置を行っても正常に動作しないとき、下記の事項以外で正常に動作しないとき、動きがスムーズでないとき、異臭や異音が出るときは電源を切り、修理依頼をしてください。



### 警告



修理、分解はご自分ではしないでください。感電、火災、ケガの原因になります。



調整、設定の変更はご自分ではしないでください。予期せぬ危険を招くおそれがあります。

症 状	原 因	処 置
ドアが開かない	電源が入っていない	ブレーカーを入れる 電源を入れる
	錠がかかっている	電源を切って解錠する。
	下部ガイドレールに異物が入っている	電源を切って異物を取り除く
ドアが開いたまま閉じない ドアが勝手に開閉を繰り返す	センサーの検出範囲内に揺れ動くものがある	揺れ動くものを取り除く
	センサー、補助光電センサーの表面が汚れている	電源を切って掃除する
	下部ガイドレールに異物が入っている	電源を切って異物を取り除く
ドアがきちんと閉じない	下部ガイドレールに異物が入っている 障害物がドアに引っかかっている	電源を切って異物を取り除く

## //////////////////// 10. サービスネットワーク //////////////////////

自動ドアに関するご相談、修理のご依頼、保守契約制度を含むアフターサービス等  
 のお問い合わせは、扶桑電機工業の「ドリーム自動ドア」サービスネットワークに  
 お気軽にお電話ください。

### --- 代理店・特約店 ---

..... 北海道地区 .....	..... 近畿地区 .....
(株)エコテック・ワン TEL 0133-74-2331	(株)姫路マドコン TEL 0791-65-1558
..... 東北地区 .....	(有)サニー産業 TEL 06-6476-7777
早川硝子(株) TEL 0243-22-3434	..... 北陸地区 .....
(株)布施 TEL 023-684-6720	酒井屋 TEL 0778-51-4026
(有)東北ジューキ TEL 0186-42-1126	..... 中国地区 .....
..... 甲信越地区 .....	山陰エレベータ(株) TEL 0859-33-8889
オートドアTOP TEL 055-235-3958	自動ドア山口 TEL 0833-44-8425
未広商事(株) TEL 026-221-1288	..... 四国地区 .....
未広商事(株) 長野支店 TEL 026-221-1588	自動ドア販売(株) TEL 087-868-4411
未広商事(株) 松本支店 TEL 0263-98-5688	(有)一金属 TEL 089-957-9929
(株)長野ニッカナ TEL 026-241-6767	..... 九州地区 .....
(株)カトウAM TEL 0258-66-2650	長崎メタル(株) TEL 095-861-5145
..... 関東地区 .....	コレスト(株) TEL 099-248-8484
(株)美光 TEL 03-5966-0086	(有)沖縄ドリーム産業 TEL 098-876-6480
(株)マエダ TEL 048-224-1500	村田技研(有) TEL 093-922-1409
第一ドリーム(株) TEL 03-3815-1350	(有)大分ドリーム TEL 0977-24-6150
未広商事(株) 関東支店 TEL 03-6240-9208	(有)東建ドアサービス TEL 096-288-2155
(株)箕輪 TEL 03-3848-7370	アエル(株) TEL 0954-45-2933
..... 東海地区 .....	(株)武島サッシ TEL 0997-52-6750
ドリーム名古屋(株) TEL 0567-28-2251	

### --- 扶桑電機工業株式会社 ---

本 社	〒140-8676	東京都品川区南品川 6-3-10	TEL 03-3474-1200 (代表)
東京支店	〒140-8676	品川区南品川 6-3-10	TEL 03-3474-1751
大阪支店	〒530-0043	大阪市北区天満 4-3-1	TEL 06-6352-6970
仙台営業所	〒983-0822	仙台市宮城野区燕沢東 2-9-48	TEL 022-252-7315
高崎営業所	〒370-0027	高崎市上滝町 469-4	TEL 027-352-1202
静岡営業所	〒422-8063	静岡市駿河区馬淵 4-12-21	TEL 054-294-8271
岡山営業所	〒700-0945	岡山市南区新保 655-9	TEL 086-244-7360
高知出張所	〒780-0901	高知市上町 1-10-2	TEL 088-871-0400
広島営業所	〒732-0066	広島市東区牛田本町 1-9-11	TEL 082-221-3460
福岡営業所	〒812-0892	福岡市博多区東那珂 3-1-35	TEL 092-471-0900

## 11. 自動ドア駆動装置の品質保証

### --- 製品の保証制度について ---

扶桑電機工業の「ドリーム自動ドア」は、設置後 1 年間の無償修理サービスがあり、お客様が正常に使用していたにもかかわらず、万一故障が生じた場合には無償で修理させていただきます。無償修理サービスの条件や内容につきましては別添の保証書に記載されております。また、保証期間が過ぎた場合は、有償で修理を承ります。

### --- 保守契約制度について ---

自動ドアの性能を長期的に維持し、安全に運用するためには、専門の知識や技能を持った技術員による定期的な保全が必要です。そのために扶桑電機工業では、保守契約制度を用意しております。定期保守による機器の点検、消耗品の取り替え、整備により、機器の寿命を延ばし、常に安定した動きで安心してご利用いただけることとなります。

保守契約制度に関するお問い合わせは、本書の 9 頁に記載されている最寄りのサービスネットワーク各店におたずねください。

#### お客様がご使用の自動ドア

● 型 名 \_\_\_\_\_

● センサー  
内 側 \_\_\_\_\_

外 側 \_\_\_\_\_

● 施 工 日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

● 施工業者  
会社名 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_

#### お問い合わせ・ご用命は